

15 雇用機会が少ないネパールのネパールでは現在300万人が移住労働者として世界各地で働いています。しかし、悪質な業者に騙され、劣悪な環境で働かされたら、コロナ禍で帰国したります人が安全な出稼ぎを推進するためのワークキャンプの開催や、ネパール国内での雇用創出を念頭にした農村開発に取り組んでいます。

【写真】カトリックネパールのスタッフから安全な移住についてレクチャーを受ける女性 ©Caritas Nepal 図ルカ 1-18b-23

14 災害によって、苦しい生活を送り、不安な日々を過ごす人々の心を照らし、希望を失うことがないよう支えてください。また、てなられた人々には、永遠の安らぎをお与えください。すべての人の苦しみを担わねばなりません。いつもともにいてくださることを、祈りと行動によってあかてできようように。

【写真】2019年の大地震の復興もままならないまま、今年8月、再び地震7.2の地震に襲われたタイのの様子。

©Francesca/Caritas Internationalis 図マタイ 21-28b-32

13 いつも次のように問うことが大きな事なのです。「わたしはただのためにあるのか。あなたが存在しているのは神のため、それは間違いないから。あなたが神はあなたに、他者のためにも存在してほしいと望んでおられます。神はあなたの中に、たくさんの資質、好み、たまもの、カトリックを置かれましたが、それらはあなたのためというよりも、他者のためのものなのです。(使徒的勸告「キリストは生きています」)

【写真】ダルの仲間のお祝い、山岳ダルク 図マタイ 21-23-27

18 今日日本に生きる若者は、文化のおよび宗教的に多様であることが分かります。それぞれが、皆さんの世代が未来にも手渡せる美しさです。皆さんの間にある友誼と、この場による一人ひとりの存在が、未来はモーションではなく、各人により多様な貢献に繋がります。有難いことに、このことを、すべての人に思い起こさせてくれます。だれもが、分かち合おうと、自分の物語をもっているのです。(教皇の日本訪問 訪日青年との集い) 【写真】工場で若者たちがつくっている手作リジヤム /フアテラ-ケア相談所は、図マタイ 1-18b-24

17 人類の父である主よ、あなたはお造りになったすべての人に、分け隔てなく尊厳をお与えになりました。わたしたちの心に、兄弟姉妹への愛を目標めさせてください。再会、対話、正義、平和の夢を、呼び覚ましてください。創世も貧困もなく、暴力も戦争もない、より健全な社会とより尊厳ある世界を築くために、わたしたちを奮い立たせてください。(2014年4月 教皇フランシスコ 聖地への平和とアベール)

【写真】2019年8月、イスラエル軍による空襲で破壊されたガザの街 ©Hough Michelle/Caritas Internationalis 図マタイ 1-1-17

16 パキスタンのカラチでは、街を流れるクジャール川が温暖化の影響でたびたび氾濫するため、政府により川の拡張工事が決定されました。しかし、川沿いのスラム居住者は強制立ち退きを迫られ、十分な支援も受けず家を失うことになりました。カトリックジャパンでは現地カトリックと協働し、立ち退きを強いられられた人々に生活必需品や食料品を配り、命をつなぐ支援を続けています。

【写真】教会にて食料品を受け取り、お祈りするために集った人々 ©Caritas Karachi 図ルカ 7-24-30

21 エルサルバドルは、森林破壊が進んでいる国の一つです。持続可能な農業法により、4分の3の農地が枯れてしま、約40万人の小規模農家が貧困状態に陥っています。モリーさんは、カリタスと地元、劣化した農地を再生させる共同プロジェクトのもと、有機農法でコーヒーを栽培し、加工、販売できるまでになりました。また農民も共同体の水源を確保しながら、生産性を最大限に高めることができ、生活の向上につながっています。

【写真】有機農法により暮らす土をまきおめるモリーさん ©Caritas Internationalis 図ルカ 1-39-45

20 子どもは人類と教会の財産そのものです。なぜなら、子どもは御国に入るのに必要な条件をいつもわたしたちに示してくれているからです。その条件とは、自分で何でもできると考えずに、自給には助けと愛とゆるしが必要であると考えることです。そうです。わたしたちは皆、助けと愛とゆるしを必要としています。(教皇フランシスコ 2015年3月18日一般謁見演説)

【写真】自分たちで集めたパンをハンモックで食べる子どもたち/NPの主人 ヒミツキチ 図ルカ 1-26-38

19 カトリックキリストは2011年に発足、2019年に国際カトリックに登録された非常に若いカトリックですが、イスラム教徒が多数を占める国で、宗教に關わらず教育支援を実施しています。特に夏に行われる天文学キャンプには毎年100人の子どもたちが参加し、キャンプを通じて相互理解を深め、科学や自然への興味を通じて学習意欲を高めています。カトリックジャパンはカトリックキリストの組織強化支援に加え、このキャンプの支援を行っています。(写真)早きまのために聖職者を設置する子どもたち ©Caritas Kyrgyzstan 図ルカ 1-39-45

24 苦しみによって寄り添うことは愛のわざであり、その人と直接かかわらなくても、その苦しみの直接の原因となる社会の状況を変えるための行いは、すべて愛のわざです。どうか「あの人たち」で終わらず、わたしたちが「わたしたち」でありましょう。(回教「ラウダグ・ラウダグ」)

【写真】タリバンが全土を占領したアフガニスタンでは、弾圧を受けて国外へ脱出を目指す市長がバグスタンの国境地帯に押し寄せ、図Francesca/Caritas Internationalis 図ルカ 1-67-79

23 カリタスモンゴルのデイケアセンターでは、特に貧困に苦しむ家庭の子どもたちの居場所事業を行っています。子どもを預けることで両親も安心して稼ごうとすることができ、世帯の安定につながります。子どもたちには先生が2人付き、食事も無料、絵本などの読み聞かせも行われます。コロナ禍で、活動はいったん停止に追い込まれましたが、活動の再開に向けて準備をしています。

【写真】2019年、デイケアセンターの子どもたちの様子 ©Caritas Mongolia 図ルカ 1-57-46

22 とくにお願ひしたのは、友誼の手を広げて、しばしばひどくつらい目に遭って皆さんの国に避難して来た人々を受け入れることです。皆さんがこの人々を受け入れてくださったことは、あかしになります。なぜなら多くの人は、よき者である人が、皆さんにとっては兄弟姉妹だからです。(教皇の日本訪問 青年との集い) 【写真】日本に帰る外国人、民族的マソリ ティム人権白書、2021年版表紙/外国人人権法連絡会 図ルカ 1-46-56

編集後記 今年もまた、大きな喜びをもって皆様のごところにクリスマス号を無事にお届けできました。厳しい現実の中でも一緒に主イエス・キリストのご降誕をお祝いし、感謝できることは大きなお恵みだと思います。2022年も、皆様にとって素晴らしい愛の源である神とともに歩める年でありように、全人類のためにお生まれになる幼子主イエス・キリストに心よりお祈りを捧げたいと思います。24日のイヴの夜に静かに皆様と心をひとつにしていきたいと思ひます。IM

	援助国/地域	援助活動名	援助団体	援助額 (円)
国際カトリック緊急支援要請	ヨルダン	シリア難民、それ以外の難民と脆弱なヨルダン人のための人道支援	カリタスヨルダン	1,088,200
	インドネシア	中部スラウェシ地震による被災世帯の復興支援	カリタスインドネシア	667,850
	パレスチナ	ガザ侵襲後の医療改善事業	カリタスエルサレム	1,310,000
	ウクライナ	ウクライナ危機の緊急対応	カリタスウクライナ	655,000
	チャド	中央アフリカ共和国危機による難民とインド(チャド)住民への緊急支援	カリタスチャド	1,301,900
	ニジェール	武力紛争への対応	カリタスニジェール	1,297,700
海外援助	コンゴ民主共和国	ニラゴゴ火山噴火による、避難民・帰還民に対する緊急支援プロジェクト	カリタスコンゴ	1,099,500
	パレスチナ	ガザ緊急要請2021	カリタスエルサレム	1,297,700
	カンボジア	FVSDC支援事業2021	カリタスカンボジア	3,264,600
	南部アフリカ	IDEAS-組織強化支援プロジェクト2021	カリタスアフリカ	2,200,400
	パキスタン/カラチ	カラチ教区における強制退去の影響を受けたカトリック信徒への緊急支援ならびに復興支援	カリタスパキスタン/カラチ	1,677,482
	ウガンダ	持続可能な農業支援	カリタスウガンダ	5,441,000
新型コロナウイルス緊急支援(海外)	モンゴル	2021年組織運営財政支援	カリタスモンゴル	2,755,500
	モンゴル	デイケアセンター 2021	カリタスモンゴル	2,755,500
	ラオス	組織開発と能力強化を通じた(ラオスにおける)カリタス設立支援	カリタスアジア	1,095,400
	イラク	ホーププロジェクト	カリタスイラク	2,199,000
	パキスタン/ファイザラバード	奨学金を通じた、学生の知識と希望の光プロジェクト	カリタスパキスタン/ファイザラバード	595,620
	インド	新型コロナウイルス感染症対策	カリタスインド	11,026,000
新型コロナウイルス緊急支援(国内)	ネパール	ネパール 新型コロナウイルス感染症対応	カリタスネパール	2,204,400
	東京教区	カトリック葛西教会ベトナム支援	カトリック葛西教会ベトナム支援グループ	900,000
国内援助	東京教区	生活に困窮する外国人のための食糧支援	カトリック東京国際センター	2,000,000
	鹿児島教区	入所施設開所に伴う備品・車両購入、事務所整備	鹿児島おいどんダルク	2,000,000
東日本大震災	仙台教区	襲いた10年、繋がるこれから	カリタスみちのく	250,000
	大阪教会管区	大阪教会管区南三陸ベース支援活動	大阪教会管区	463,973

We are Caritas No.23 (2021年12月号) 通算発行番号No.329
郵便振替番号 00170-5-95979
宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン 発行人 菊地 功
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館
TEL:03-5632-4439 FAX:03-5632-4464
Email:info@caritas.jp URL:https://www.caritas.jp
f https://www.facebook.com/caritasjapan



Caritas Japan
私たちは一つの家族 地球はみんなのいえ
NO.23 2021年12月号 通算発行番号No.329
You can read the text of this newsletter with Google Translation @ https://www.caritas.jp



クリスマス象徴するあの幻想的な馬小屋のシーンは、「宿屋には彼らの泊る場所がなかったから」起こった出来事でした(ルカによる福音書2章7節参照)。私たちのいのちを創造され賜物として与えられた神は、この世界に人としてこられたとき、安全安心な環境の中に迎え入れられたのではなく、拒絶され排除され、孤立のうちにそのいのちを生きる道を歩み始めました。

いのちは神からの賜物です。神はいのちを互いに助ける者となるように創造されました。しかし残念なことに、そのいのちは、世界各地で、ありとあらゆる理由から危機にさらされ続けています。地域紛争や、貧困、病気、暴力のために、毎年どれだけのいのちが危機にさらされ、また奪われていることでしょうか。近年では、地球環境の悪化が指摘されますが、このいのちを育む大切な場である共通の家を、わたしたち自身が欲望を実現するために、危機に陥れています。

この二年間、わたしたちはコロナ禍のうちにあって、いのちの危機を肌で感じてきました。人と人との繋がりを感染対策は分断し、孤立と孤独は深まっています。こんな状況にあるからこそ、いのちを守るために、連帯と支え合いが必要です。連帯と支え合いは、いのちを生きる希望を生み出します。

希望を失い、危機に直面しているいのちが、世界にどれほどあることか。そのいのちに寄り添い、ともに歩み、希望を生み出す存在でありたいと思ひます。

カリタスジャパン 責任司教 菊地 功

We are Caritas 23号は、クリスマス特集号となります。内面には「カリタスジャパン アドベントツリー」として、本年度のカリタスジャパンの活動に関連する写真を飾ったクリスマスツリーを縦型に配置しています。ツリーは、アドベントカレンダー形式(12月1~24日まで)となっており、ツリーの下には、それらの写真の説明、祈り、言葉、当日の福音の箇所を記載した表を掲載しておりますので、ご利用ください。

